

2021 年度 (令和 3 年度) 学校評価自己評価表

済美	中学校区	校番 18	福山市立	瀬戸小	学校
最終更新日			2021年(令和3年)4月1日		

I 福山市	<p>ミッション 福山に愛着と誇りを持ち、変化の激しい社会をたくましく生きる子どもを育てる。</p> <p>ビジョン 「福山100NEN教育」の基本理念のもと、各中学校区・学校が「21世紀型“スキル&amp;倫理観”」の育成に向けた特色ある教育課程を編成し、日々の授業を中心として評価・改善を進めながら、子どもたちの確かな学びを実現している。</p>
-------	---

II 中学校区

前年度学校関係者評価の主な内容	児童生徒の現状	育成する力 (21世紀型“スキル&倫理観”)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 課題発見・解決力</li> <li>○ コミュニケーション力</li> <li>○ 他者とかかわり合う力・心</li> </ul>
<p>○コロナ禍の大変な状況だからこそ、課題や取組、変化等について、学校から保護者・地域へ発信して情報を共有し、児童・生徒が成長するよい環境を作っていきます。</p>	<p>○基礎的・基本的な学力はおおむね定着しているが、それらを活用した思考力や表現力、またねばり強く問題に取り組む姿勢には課題がある。</p> <p>○校区一体となったあいさつや無言清掃等の取組を通して、児童生徒の集団への意識が高まっている。また集団を牽引するリーダーも育ててきている。</p>	<p>めざす子ども像 (義務教育修了時の姿)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 目標や課題解決に向かって粘り強く努力し、チャレンジしている。</li> <li>② 場面や目的に応じた豊かな表現力を身につけている。</li> <li>③ 多様な他者とかかわり合いながら、共によりよく生きようとしている。</li> </ol>	<p>中学校区として統一した取組等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○社会に開かれた教育課程「校区カリキュラムマップ」の実現</li> <li>○「主体的、対話的で深い学び」のある授業づくりの研修</li> <li>○児童会、生徒会活動の活性化による規範意識と共感的人間関係の育成</li> </ul>

III 自校

<p>ミッション</p> <p>「子ども理解・支援」を基に、学び・学級・学年づくりを進め、子どもたちの姿を通して、保護者・地域とつながる瀬戸小学校 ～「安心感・自己効力感・思いやりの心」を育みながら～</p>	<p>学校教育目標</p> <p>自ら考え、学び合い、ともにによりよく生きる子どもの育成</p>	<p>現状</p> <p>〈児童生徒〉 ①素直な心で、無言そうじ(ペア学年)や、体育・音楽参観日、修学旅行、野外活動等に取り組む、主体的に活動することを通して達成感を味わい、自ら考え・判断し・協働する力を身に付けつつある。日々の授業や集団活動(学級・学年、異年齢、交流)等を通して、帰属・規範意識、安心感・自己効力感・思いやりの心等を育てていくことに課題がある。 ②担任・関係職員の連携・協働により、連続欠席が改善傾向の児童が見受けられる。学校・教室で、自ら学んだり、学び合ったりすることが不十分な児童が少なからずいる。 ③学力(生きて働く知識・技能、思考・判断・表現力、学びに向かう力・人間性等)の伸びが不十分な児童が少なからずいる。</p> <p>〈授業〉 ①「児童自らが問いを持つ・考える・つばやく」等、「子ども主体の学び」が進み、「分かった・できた・面白い」と、感じている姿・場面が見受けられる。 ②書く活動や振り返り等を通して学びをつなぎ、生きて働く知識・技能を獲得したり、見通しを立てて粘り強く学びに向かう力を身に付けたりすることに課題がある。 ③単元の本質追求に向けて、他者の考え等をしっかり聞き、自分の考えと比較・関連付けながら話し合うなど、学びを広げ・深める単元構想・授業展開・評価に課題がある。</p>	<p>育成する力 (21世紀型“スキル&amp;倫理観”)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○課題発見・解決力</li> <li>○コミュニケーション力</li> <li>○他者とかかわり合う力・心</li> </ul>	<p>めざす子ども像 小学校</p> <table border="1"> <tr> <td>1・2年</td> <td>自ら問いやめあてを持ち、自分の考えやその理由を、適切なことばで書き留めながら(「見通す→振り返る」を繰り返して)学び続けている。</td> <td>自分の周りの人たちのことを、目線を含め、うなずき・つぶやく(「へえ～・ほお～・なるほど・すごいね!」等)ながら、聴いている。</td> <td>自分の周りの人たちの思いや、そう思う理由に気づき、自分の思いを、素直なことば「はい・ありがとう・ごめんさい」等で表したり、誰かの役に立とうとしていたりしている。</td> </tr> <tr> <td>3・4年</td> <td>学び続ける中で、学習内容や学び方等を振り返りながら、次の目標や課題を自ら見出し、見通しを持って学びに向かっている。</td> <td>自分の考えを、相手に分かりやすく(主・述の明示、結論→根拠、例え話の挿入、図表や絵・写真・教材・ボードの活用、声のボリューム、間の取り方等)伝えている。</td> <td>相手の立場(状況)やその時の思いを、自分に置き換えて想像し、共通・相違点を見出しながら、(折り合いをつけて)歩み寄りたり「そうか・そうなんだ」等、励ましたり「大丈夫? いっしょにやろう」等しようとしている。</td> </tr> <tr> <td>5・6年</td> <td>学び続ける中で、学習内容や学び方等を振り返りながら、次の目標や課題を自ら見出し、見通しを持って学びに向かっている。</td> <td>相手の考えを、自分の考えと比べたり関連付けたりしながら聞き、問い返したり、整理し直してより明確に伝えている。</td> <td>多様な他者とかかわりを通して、(時には、衝突しながら)それぞれの良さやちがいを発見し、受け入れながら、助け合ったり、(競い合い)高め合ったりしようとしている。</td> </tr> </table> <p>中学校</p> <table border="1"> <tr> <td>1年</td> <td>学びの過程や結果から気付いた・考えたこと、その意味・価値・つながりを振り返り、見出した次の目標や課題を、見通しを立てて情報を収集・整理・活用しながら(他者を巻き込んで)達成・解決している。</td> <td>自分の考えを、多様な他者に分かりやすく伝えながら、質問(反論・同意)・説得・納得を繰り返して、考えを広げ・深めるとともに、まとめたり(合意形成)、新たな発想を生み出したりしている。</td> <td>集団(地域、学校・学年・学級等)活動における自らの役割とその目的・価値を見出し、多様な他者と認め合い・許し合い・補い合いながら、責任を果たそうとしたり、貢献しようとしていたりしている。</td> </tr> </table>	1・2年	自ら問いやめあてを持ち、自分の考えやその理由を、適切なことばで書き留めながら(「見通す→振り返る」を繰り返して)学び続けている。	自分の周りの人たちのことを、目線を含め、うなずき・つぶやく(「へえ～・ほお～・なるほど・すごいね!」等)ながら、聴いている。	自分の周りの人たちの思いや、そう思う理由に気づき、自分の思いを、素直なことば「はい・ありがとう・ごめんさい」等で表したり、誰かの役に立とうとしていたりしている。	3・4年	学び続ける中で、学習内容や学び方等を振り返りながら、次の目標や課題を自ら見出し、見通しを持って学びに向かっている。	自分の考えを、相手に分かりやすく(主・述の明示、結論→根拠、例え話の挿入、図表や絵・写真・教材・ボードの活用、声のボリューム、間の取り方等)伝えている。	相手の立場(状況)やその時の思いを、自分に置き換えて想像し、共通・相違点を見出しながら、(折り合いをつけて)歩み寄りたり「そうか・そうなんだ」等、励ましたり「大丈夫? いっしょにやろう」等しようとしている。	5・6年	学び続ける中で、学習内容や学び方等を振り返りながら、次の目標や課題を自ら見出し、見通しを持って学びに向かっている。	相手の考えを、自分の考えと比べたり関連付けたりしながら聞き、問い返したり、整理し直してより明確に伝えている。	多様な他者とかかわりを通して、(時には、衝突しながら)それぞれの良さやちがいを発見し、受け入れながら、助け合ったり、(競い合い)高め合ったりしようとしている。	1年	学びの過程や結果から気付いた・考えたこと、その意味・価値・つながりを振り返り、見出した次の目標や課題を、見通しを立てて情報を収集・整理・活用しながら(他者を巻き込んで)達成・解決している。	自分の考えを、多様な他者に分かりやすく伝えながら、質問(反論・同意)・説得・納得を繰り返して、考えを広げ・深めるとともに、まとめたり(合意形成)、新たな発想を生み出したりしている。	集団(地域、学校・学年・学級等)活動における自らの役割とその目的・価値を見出し、多様な他者と認め合い・許し合い・補い合いながら、責任を果たそうとしたり、貢献しようとしていたりしている。	<p>自己認識・自己表現・自己実現</p>
1・2年	自ら問いやめあてを持ち、自分の考えやその理由を、適切なことばで書き留めながら(「見通す→振り返る」を繰り返して)学び続けている。	自分の周りの人たちのことを、目線を含め、うなずき・つぶやく(「へえ～・ほお～・なるほど・すごいね!」等)ながら、聴いている。	自分の周りの人たちの思いや、そう思う理由に気づき、自分の思いを、素直なことば「はい・ありがとう・ごめんさい」等で表したり、誰かの役に立とうとしていたりしている。																		
3・4年	学び続ける中で、学習内容や学び方等を振り返りながら、次の目標や課題を自ら見出し、見通しを持って学びに向かっている。	自分の考えを、相手に分かりやすく(主・述の明示、結論→根拠、例え話の挿入、図表や絵・写真・教材・ボードの活用、声のボリューム、間の取り方等)伝えている。	相手の立場(状況)やその時の思いを、自分に置き換えて想像し、共通・相違点を見出しながら、(折り合いをつけて)歩み寄りたり「そうか・そうなんだ」等、励ましたり「大丈夫? いっしょにやろう」等しようとしている。																		
5・6年	学び続ける中で、学習内容や学び方等を振り返りながら、次の目標や課題を自ら見出し、見通しを持って学びに向かっている。	相手の考えを、自分の考えと比べたり関連付けたりしながら聞き、問い返したり、整理し直してより明確に伝えている。	多様な他者とかかわりを通して、(時には、衝突しながら)それぞれの良さやちがいを発見し、受け入れながら、助け合ったり、(競い合い)高め合ったりしようとしている。																		
1年	学びの過程や結果から気付いた・考えたこと、その意味・価値・つながりを振り返り、見出した次の目標や課題を、見通しを立てて情報を収集・整理・活用しながら(他者を巻き込んで)達成・解決している。	自分の考えを、多様な他者に分かりやすく伝えながら、質問(反論・同意)・説得・納得を繰り返して、考えを広げ・深めるとともに、まとめたり(合意形成)、新たな発想を生み出したりしている。	集団(地域、学校・学年・学級等)活動における自らの役割とその目的・価値を見出し、多様な他者と認め合い・許し合い・補い合いながら、責任を果たそうとしたり、貢献しようとしていたりしている。																		
<p>研究</p> <p>テーマ</p> <p>「自ら問いや考えを持ち、伝え合い・聴き合いながら、粘り強く学び続ける」児童の育成</p> <p>内容等</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①各授業者が「挑戦・追求課題」「研究推進重点教科」等を自ら選び、目の前の子どもたちと「子ども主体の学びづくり」にチャレンジする。</li> <li>②校内・チーム体制を整え、研究を進める。</li> </ol>	<p>めざす授業の姿</p> <p>全ての子どもたちが、日々の授業で、単元の本質(価値・魅力・つながり)に向かって・・・「自ら問い(なぜ・どうして?)を持ち、(既習・経験・他教科等とつなげて)考えている」「考えたことなどを、伝え合い・聴き(訊き)合いながら、広げたり・深めたりしている」「(見通しを立てたり、振り返ったりしながら)粘り強く学んでいる」</p>																				

IV 目標・取組及び評価指標等の設定と評価

福山市立 瀬戸小 学校

年目	中期経営目標	重点	分類	短期経営目標	目標達成に向けた取組	評価指標 児童・職員アンケート(6⇒11⇒1月) 保護者アンケート(7⇒12月)予定	中間評価(10月1日)				最終評価(2月末)				
							目標に係る取組状況	プロセス評価	達成評価	改善方策	目標に係る取組状況 ◎短期(中期)経営 目標の達成状況	プロセス評価	達成評価	総合評価	改善方策
3	確かな学力 (生きて働く知識・技能、思考・判断・表現力、学びに向かう力・人間性等)の向上	★	継続	・「めざす授業の姿」に沿って、子ども主体の学びづくりを進め、学力(3つの柱)を伸ばす。	○「挑戦・追求課題⇒研究推進重点教科」(自ら選ぶ・決める)等を基に、「子ども主体の学びづくり」を進める。<研究授業+日々の工夫・改善> ○「単元の本質」に向かう単元構想(本質的な問い等)を基に、子どもたちの学びを引き出し・つなぎ・広げる授業展開を工夫する。	○児童アンケート4項目で「あてはまらない」を0%に近づけていく。 ①自ら問い(なぜ・どうして?)を持ち、(つなげて)考えている。 ②考えたことなどを、伝え合い・聴き(聞き)合いながら、広げたり・深めたりしている。 ③(見通しを立てたり、振り返ったりしながら)粘り強く学んでいる。 ④「分かった・できた・面白い!」と感じる場面がある。 ○職員アンケート「目の前の子どもたちの学力(3つの柱)は伸びている(学力調査、児童の振り返り、手ごたえ等)」肯定的評価を100%に近づけていく。									
3	豊かな心の育成		継続	・「多様な他者とのよりよいかかわり」を生み出す集団活動・指導⇒支援・評価を工夫し、安心感・自己効力感・思いやりの心を育む。	○感染予防・拡大防止対策を徹底しながら、子ども主体の集団活動(掃除、行事、集会、遊び等)一児童会・委員会・クラブ・学年等)・指導・支援を工夫し、評価・改善を「見える化」する。 ○日々の学級活動(朝・終わりの会、給食等)と、学活・道徳・行事を関連付ける(振り返りの活用等)。 ○長欠・連続遅刻の未然防止・初期対応に係る取組・支援を、組織的に・タリタリに・粘り強く続ける。	○児童アンケート4項目で「あてはまらない」を0%に近づけていく。 ①クラスで、 <b>安心</b> して過ごせている。 ②クラスの <b>役に立つ</b> こと(〇〇係・名人等)を、1つ以上が <b>がんば</b> っている。 ③出会った人の心に <b>届く</b> 、 <b>あいさつ</b> をしている。 ④そこを使う・通る人のことを考えて、 <b>ていねい</b> に <b>そろう</b> している。 ⇒自ら「選ぶ・決める・続ける」 ○長欠児童の減少<前年度同月比較>									
3	健やかな体の育成		継続	「運動することは楽しい・面白い」等が実感できる学習活動・指導⇒支援・評価を工夫し、運動好きな児童を増やす。	○感染予防・拡大防止対策を徹底しながら、体育授業や外遊び等で、多様な他者とよりよく関わることの楽しさや、課題克服⇒体力・技能向上の喜び、練習やルールの工夫等の面白さが実感できる学習活動・指導・支援を工夫し、評価・改善を「見える化」する⇒学習方略の獲得 ○体育授業(練習⇒体力・技能习得等)で、自己ベストや「もう1回・もう1m」等に、こだわりが持てる指導・支援を工夫し、評価・改善を「見える化」する⇒非認知能力(やり抜く力等)の向上	○児童アンケート3項目で「あてはまらない」を0%に近づけていく。 ① <b>友達</b> と <b>かかわり</b> 合って運動することは、 <b>楽しい</b> 。 ②自分たちで、練習やルールなどを考え・工夫して運動することは、 <b>面白い</b> 。 ③ <b>運動が好き</b> 。 ○体力テスト(5月⇒再テスト12~1月)で、自己ベスト更新児童80%以上<重点種目・時期・取組⇒各学年で設定・実施・分析・改善>									
2	信頼される学校づくりの推進		継続	・子どもの姿を通して、保護者・地域との信頼関係をより深める一働き方の見直し・改善を進めながら。	○子どもたちの集団活動や学びの姿・成長を発信・共有し、保護者・地域とつながる。 ○「子ども主体の学びづくり」に係る時間を生み出すために、時間管理の見直し(月・週別、曜日別)を立てる<各学年・分掌、各自>	○保護者アンケート「日々の授業や行事等を通して、我が子は成長している」肯定的評価を100%に近づけていく。 ○職員アンケート①働き方の工夫・改善を進めながら、「子ども主体の学びづくり」に係る時間を生み出している。②保護者と、子どもの姿(学び・成長・課題解決の見直し等)を共有している。肯定的自己評価を100%に近づけていく。 ○時間外勤務 月4.5時間・年間360時間を超えない職員を0に近づけていく。									

【プロセス評価の評価基準】

評点	評価基準
5	取組の目的に対する共通理解が顕著に認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が十分に図られた。
4	取組の目的に対する共通理解が認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が概ね図られた。
3	取組の目的に対する共通理解が一定程度認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決がある程度図られた。
2	取組の目的に対する共通理解が認められ難く、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決があまり図られなかった。
1	取組の目的に対する共通理解が認められず、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決が図られなかった。

【達成評価の評価基準】

評点	評価基準
5	目標を大幅に達成し、十分な成果をあげた。
4	目標を概ね達成し、望ましい成果をあげた。
3	目標をある程度達成し、一定の成果をあげた。
2	目標を下回り、成果よりも課題が多かった。
1	目標を大きく下回り、成果が認められなかった。

【総合評価の評価基準】

評点	評価基準	
5	100%以上の達成度	十分に目標を達成できた。
4	80%以上100%未満の達成度	概ね目標を達成できた。
3	60%以上80%未満の達成度	ある程度目標を達成できた。
2	40%以上60%未満の達成度	あまり目標を達成できなかった。
1	40%未満の達成度	目標を達成できなかった。